

## ツアーに参加できない方も「英彦山巡礼路」を体験しやすくなります！

～巡礼路を示すサイン設置など3つの事業を同時に展開します！～

県と（公社）福岡県観光連盟では、平成29年7月九州北部豪雨による被災からの復興を目指す日田彦山線沿線エリアの観光振興に向け、令和3年度から修験道の文化を取り入れた「英彦山巡礼路」の開発等に取り組んできました。

ガイド付きツアー商品の開発や登山地図アプリ「YAMAP」での情報充実などの成果がでてきたところですが、ツアーに参加できない方に「英彦山巡礼路」の魅力を伝えることが課題となっていました。

そこで、このたび、

①「英彦山巡礼路」を示すサインの設置

② 地元産品等を旅マエからお届けする「英彦山巡礼路旅マエBOX」の販売

③「YAMAP 英彦山巡礼路モーメント（写真・コメント）投稿キャンペーン」

を一体的に実施することで、ツアーに参加できない方も自由なタイミングで「英彦山巡礼路」を体験し、魅力に触れることができる選択肢を提供します。

これから徐々に秋が深まり、美しい紅葉で彩られる福岡の山々。古の山伏（修験道の修行者）たちに思いを馳せながら、巡礼路を歩いてみませんか。

※ この事業は、観光庁「地域観光魅力向上事業」の採択を受けて実施しています。

### 1. 事業の概要

#### (1)「英彦山巡礼路」サイン設置プロジェクト

株式会社ヤマップと連携し、英彦山巡礼路の一つ「春峰ルート」（宝満山と英彦山をつなぐ峰入り道をもとにした巡礼路）に、英彦山巡礼路ロゴマークをあしらった日英併記のサインを設置しました。

これにより、国内外の登山者に、英彦山巡礼路を認知してもらうとともに、安心して歩いてもらえる環境を整備しました。



サイン取り付けの様子



サインを取り付けた九州自然歩道の既設看板

※ サイン設置に際しては、一般社団法人九州自然歩道フォーラム、嘉穂三山愛会の皆様にご協力いただきました。

※ 今回の整備区間は、古処山登山口～英彦山神宮。概ね500m間隔で、九州自然歩道の既設看板に付加する形で設置しました。



九州自然歩道  
フォーラム



嘉穂三山愛会  
（日本山岳遺産認定  
活動支援団体）

## (2) 地元産品等を旅マエからお届けする「英彦山巡礼路旅マエ BOX」の販売

登山をされる方は、早朝から入山するため、昼食や行動食を地元で購入することが難しく、スーパーやコンビニで購入したものを持参することが多く、「地域経済に貢献しにくい」ことが課題でした。

そこで、地元グルメの詰め合わせと、英彦山巡礼路に親しみをもってもらうためのオリジナルデザインTシャツ、タオルなどをセットにした「英彦山巡礼路旅マエBOX」を開発しました。(セット価格 13,500 円、限定 50 セット)

オリジナルデザインTシャツ、タオルは、「英彦山巡礼路」ロゴマークをデザインした伊澤良樹氏によるデザインで、このセット限定で制作するものです。

また、売上の一部(500 円)が英彦山巡礼路の保全活動団体に寄付され、英彦山巡礼路の環境整備にも貢献できます。



英彦山神宮高千穂有昭禰宜とデザイナー伊澤良樹氏  
(オリジナルTシャツ着用)



オリジナルデザイン商品  
(タオル・どら焼き・ようかん)



英彦山巡礼路旅マエ BOX  
内容全体イメージ

### <「英彦山巡礼路旅マエ BOX」概要>

嘉麻市、東峰村、添田町の特産品詰め合わせ、Tシャツ、タオル、英彦山参道絵図などのセットをオンライン販売し、英彦山巡礼路に訪れる前にご自宅にお届けするものです。



〔販売サイト①〕

嘉麻市観光まちづくり協会 HP  
(JTB BOKUN 連携ページ)



〔販売サイト②〕

ビッグストーン・ツアーズ HP  
(英彦山登山ガイドも対応)



## (3) 福岡県観光連盟×YAMAP「英彦山巡礼路モーメント投稿キャンペーン」

株式会社ヤマップと連携し、10月3日から12月7日にかけて「英彦山巡礼路モーメント投稿キャンペーン」を開催します。※モーメント：YAMAP アプリに写真、コメントを投稿する機能

キャンペーンでは英彦山巡礼路のうち春峰ルート上に複数のランドマークを設定しており、「YAMAP」アプリを起動したまま決められたランドマークを4箇所通過すると、オリジナルのデジタルバッジが獲得できます。

デジタルバッジを獲得した上で、YAMAP アプリ内で英彦山巡礼路に関するモーメント投稿をされた方、先着 450 名様にオリジナル巡礼記念タグ(木製)をプレゼントします。



オリジナル巡礼記念タグ



オリジナルデジタルバッジ

キャンペーン  
詳細はこちらから



「YAMAP MAGAZINE」  
キャンペーン紹介記事



## 参考：英彦山巡礼路とは

県・福岡県観光連盟は、ヤママップと連携し、令和3～4年度にかけて、九州自然歩道を活かして、英彦山修験道の歴史、文化を取り入れた「英彦山巡礼路」3ルートを設定しました。

令和4年度に特設サイトを開設し、情報発信を行っています。  
各ルートの概要は、下記のとおりです。

英彦山巡礼路特設  
ウェブサイト



### 【春峰ルート】

7世紀末、役行者によって開かれたと言われる、宝満山（坂本八幡宮を起点）と英彦山をつなぐ峰入り道をもとにした巡礼路。

嘉穂アルプスでは、古処山のツゲの原生林、馬見山の尾根に広がるブナ林など、自然の見どころも豊富です。

小石原から英彦山までの間は、雰囲気が変わり、行者杉や修験道の始祖である役行者が修行した深仙宿、貝吹峠など、修験道の歴史・文化が色濃い道が続きます。



英彦山遠景

### 【お潮井とりルート】

英彦山の最も古い神事のひとつである「お汐井とり」のルートをもとにした巡礼路。

英彦山では、毎年2月末日に、英彦山の松会祈年祭の行事のため、今川、祓川流域の約40kmの道を辿り、行橋市杵尾海岸・姥が懐で禊をし、潮水を竹筒に汲み、英彦山へ持ち帰って山内を清める「お潮井とり」が、平安時代から千年余り続けられています。



起点となる姥が懐

### 【秋峰ルート】

皿倉山から英彦山をつなぐ峰入り道をもとにした巡礼路。

途中、竜ヶ鼻は急峻でルート上には一部未整備の箇所もありますが、大坂山までの縦走路は春峰と比べても全般的に歩きやすい箇所が多く、エスケープルートが多いのが特徴です。

岩石山からは英彦山まではお潮井とりルートと共通です。



竜ヶ鼻からの眺望

## 参考：英彦山巡礼路ロゴマークデザイン



三羽の鷹が描かれている英彦山護符



三羽の鷹をモチーフにしたロゴマーク  
(写真は今回設置したサイン)

デザイナー伊澤良樹氏にデザインを委託して制作。  
開山伝説にちなみ、鷹は英彦山の霊鳥とされています。  
牛玉宝印（ごおうほういん・左の図）や紋にも、鷹がデザインされています。  
三羽の鷹をモチーフにした英彦山巡礼路のシンボル。  
太陽や循環、生まれかわりを意味する円相を組み込んでいます。

### <伊澤良樹氏プロフィール>

コム デ ギャルソン、ウォルト・ディズニー・ジャパンのデザイナーを経て、2016 年に拠点を阿蘇に移し活動をスタート。  
地域や企業のブランドイメージの設計から運用に至るまでのトータルディレクションとデザインを手掛ける。  
主な仕事に東宝「ゴジラ」の海外国内向けブランド構築のアートディレクション、スタジオ地図 10 周年事業のアートディレクション、阿蘇ユネスコ世界ジオパークのビジュアルデザインのデザイン設計など

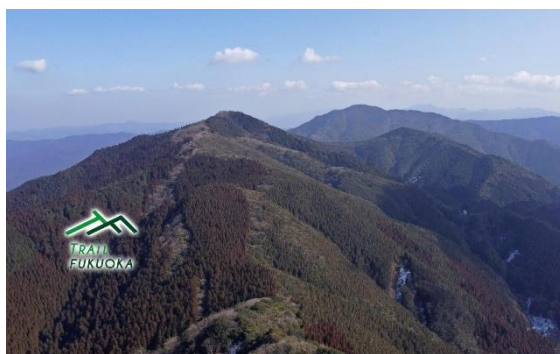
## 参考：嘉穂アルプス

2016 年、日本山岳遺産に認定された馬見山・江川岳・屏山・古処山連峰。登山口にはキャンプ場があり、朝倉市側からのルートも設定されています。嘉麻峠から秋月までの登山道は九州自然歩道となっており、国指定天然記念物「ツゲ」など見所も豊富。

また、馬見山の登山道には風穴や御神所岩もあり、色とりどりの景観で見る人の目を楽しませてくれます。



風穴（ふうけつ）・御神所岩（ごしんじょいわ）（馬見山）



国指定天然記念物「ツゲ」（古処山）



オオキツネノカミソリ（古処山）